

モチベーションプロセスに着目した、
学生・研修医に対する臨床救急医学教育カリキュラム開発の研究について

この度海老名総合病院救命救急センターでは入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただいております。

1. 研究目的

ADDIE モデルを用いて、モチベーションプロセスに重点を置いた救急部門教育カリキュラムを開発することで、学習者の学習満足度、理解度を深め、心構えや行動の変容を促すことができるかを明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

研究対象

海老名総合病院救命救急センターで臨床実習・臨床教育を受ける東海大学学生・当院研修医

実施期間

研究対象学習者の研究参加期間は、当院救命救急センターでの実習・研修期間とする。

(臨床実習学生は2週間、1年目研修医は2か月、2年目研修医は1か月)

実施場所は救急外来、もしくは病棟とする。

研究方法：分析(Analysis)

救急部門教育の実施理由やニーズを分析することで、学習目標を設定していく。患者中心の医療を達成するための人材育成のために、学習者中心の教育を行うという、複雑なニーズに対応するために、ニーズ分析は、学習者だけでなく、教育に携わるスタッフや教育施設、近隣住民といったステークホルダーのニーズを分析していく必要がある。また、学習者が学習を始める時点での能力や経験、テーマへの関心度などの分析も加味し、学習目標を設定すると同時に、学習者の救急医学実習や研修におけるモチベーションも分析する。

デザイン(Design)：学習目標を達成するために、必要な知識、スキルを列挙し、学習項目を構造化していく。そして、これらの内容をどのように学習者と共有したり、トレーニングしたりするかといった、学び方をデザインする。また、学習者のモチベーションプロセスを認識・共有するための方法も列挙し、構造化する。

開発(Development)：デザインのフェーズで決定した学習内容を実行に移すために必要な設備、備品、装置を列挙し、実際の準備を行っていく。また、スライドや資料の準備、スタッフの分担なども行う。

実装(Implementation)：実際に学習者に教育を行う。

カリキュラム評価 (Evaluation)：カークパトリックの評価モデルを元に、カリキュラム評価を行う。このモデルは大きく4段階のレベルに分かれており、低い方から、反応、学習、行動、結果を評価する。その後、医療従事者教育プログラムの評価のために改定されたモデルが発表され、使用報告がみら

れるようになった。本研究ではレベル 3 に相当する行動の評価まで行う。これら評価を行うために、妥当性と信頼性が高く、実現可能なツールを検討する。

研究成果の公表：今回開発したカリキュラムを施行することで、学習者の行動変容を促し、学習者が生涯学習者として成長することができれば、その結果患者中心の医療の実現に貢献できると期待される。

3. 試料・情報

原則量的データとして収集されるが、一部質的データも含む。

1) 学習者基本情報

年齢、性別、役職名（学生・研修医 1 年目・研修医 2 年目）

以下のデータは、教育介入前後で学習者の自己評価情報として収集される

2) 学習者の好み、心構え

救急医療への関心度、救急医療のイメージ、1 日当たりの自主学習時間、自主学習方法、問題解決方法、将来の進路が決まっているかどうか、決まっていればその診療科

3) 自己評価

救急部門実習・研修における学習目標達成のために獲得するべきと考えられる知識・スキルの自己評価

4) 学力テスト

救急部門実習・研修における学習目標達成のために獲得するべきと考えられる知識を問う学力テストを、教育介入前後に実施する。この学力テストの目的は、実習・研修期間中に獲得するべき知識を認識し、教育介入後どの程度獲得できたかを確認することであり、個人の成績には関与しない。これは、評価そのものにより学習者に学習を促すことを目的とする形成的評価 (formative assessment) である。この学力テスト問題の妥当性と信頼性を確認するために、当院に所属する複数の救急科専門医がこのテスト問題を評価する。

以下のデータは、教育介入前にのみ収集される

5) 救急部門実習・研修期間中の個人的学習目標

6) 救急部門実習・研修への期待度

以下のデータは、教育介入後にのみ収集される

7) 実習・研修開始時に個人的に設定した学習目標の達成度

8) 救急部門実習・研修への満足度

9) 学習内容の理解度

10) 救急部門における全実習・研修における感想、提案できる改善点など（自由記載）

4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスは ID・パスワード等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者 : 救命救急センター 大坪 里織